

# コラム～安全だより～

充電式剪定バサミ（電動バサミ）で手を切る事故が9月だけで2件報告されました。また、昨年度は指を切断する事故も起きています。

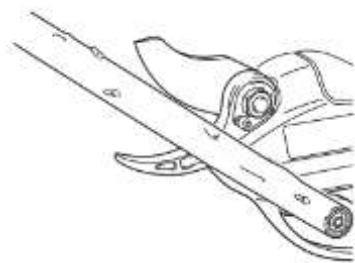
令和6年11月（通算第143号）

発行：  
公益財団法人東京しごと財団  
（東京都シルバー人材センター連合）

## 電動剪定バサミの事故が増えています。 便利な道具ですが、重大な事故につながる 恐れがあるので注意しましょう。

電動剪定バサミ（充電式剪定バサミ）は“トリガー”を引くとはさみが閉じ、枝が切れる仕組みになっています。軽くてよく切れ、手や腕への負担も少ないことから、最近では農家や造園業などプロの方だけでなく、ご自宅用に購入する方も増えています。

一方で、シルバー人材センターではこれを使った事故が増えてきています。よく切れるだけに大ケガにつながりますので、取扱説明書をよく読み、十分注意して使用しましょう。



※イラストは株式会社マキタより許可を得て掲載しています

### こんな事故が起きています…

電動バサミで剪定中に、枝を押さえていた左手の人差し指を誤って切ってしまった。切れ味が鋭く、指を巻き込んでしまった時に切り落としました。



植木の剪定作業中、電動バサミを使用して切り枝を細かく切っていたところ、枝を押さえていた左手の親指を誤って切ってしまった。幸い、すぐに手を離したので指の切断とまではならなかったが、病院で6針縫った。

剪定した枝を袋詰めできる長さに切る作業中、右手で枝を抑え、左手で電動バサミで枝を切断する際、右手の人差し指を巻き込んで切ってしまった。

### 3件の事故に関する原因を分析してみると…

#### 原因

剪定作業や切った枝を短く裁断するために電動剪定バサミを使用する場合、取扱説明書では「ハサミに手や顔を近づけない」となっているにもかかわらず、手動の剪定バサミの要領・距離感でハサミを持たない方の手で枝を保持して、電動剪定バサミに近づけたことが原因の一つとなっています。

#### 対策

剪定作業や切った枝を短く裁断する作業等において、ハサミを持たない方の手や顔などを電動剪定バサミに近づけないことを徹底しましょう。やむを得ず枝を保持する場合でも、安全な距離を確保して作業することが必要です。

また、ハサミを操作する利き手は薄い手袋でも、枝を保持する手には防刃手袋・耐切創手袋等を着用することでケガを軽減することができます※。

切り枝の飛びなどから目を保護するゴーグルも着用するようにしましょう。

※電動剪定バサミは防刃手袋・耐切創手袋も切断しますので十分注意が必要です。